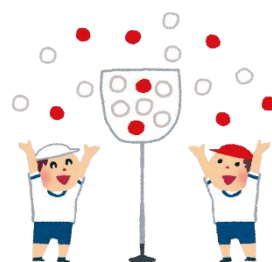


保護者の皆さまへ 寝屋川支援校長室だより

令和2年10月9日 No.11
大阪府立寝屋川支援学校
校長 福井 浩平
准校長 阪本 友輝

10月になり、本格的な秋を迎えつつあります。かなり涼しくなってきましたので、体調を崩さないよう学校でも注意してまいります。ご家庭におかれましても、ご家族皆様の健康管理にご留意ください。

各学部での各種行事が始まる頃となりました。感染症対策に努めながら、子どもたちが安全で安心して楽しく過ごせるよう努めてまいります。お願いすることも多々あるかと思いますが、何卒よろしく願います。



● 電話連絡について

9月7日に配付しております「学校での電話対応」にてお伝えしておりますように、本校の自動応答メッセージ対応を設定する時間帯は平日18時～翌朝8時まで（水曜日は17時～翌朝8時まで）となっております。緊急時連絡先も用意しておりますが、時間帯・状況によりまして出ることができない場合もあります。

先日も、緊急連絡先にご連絡いただいた際に出ることができずに大変申し訳ございませんでした。

もし時間外に事故等が発生した場合は、まず警察や消防にご連絡いただくことが、より安全・安心の確保に繋がると考えます。状況に応じて関係機関にご連絡をお願いします。

また、「学校からの着信に気付いたので掛けなおしたが、すでに取次ぎ時間が終わっており、どんな用件か確認することができず、不安になることがある」という声をお聞きすることがあります。

取次ぎ時間終了間際の電話はできるだけ控えるよう学校でも留意してまいります。なお、その日のうちにお伝えしないといけないことは、できるだけ教員から再度のご連絡をいたします。再度の連絡がない場合は、緊急の連絡ではなかったとご理解いただければと思います。

ご理解ご協力のほど、よろしく願います。

●朝の挨拶運動について

昨年度までは、中学部・高等部の生徒会の生徒や自主通学の生徒により、ドリームロードで「おはようございます」とみんなに声をかけ、また小学部のみんなにハイタッチするなどして、1日の始まりを共有していました。

今年度は新型コロナにより「大声を出さない」「接触を控える」といったことから、同じメンバーにより、「お・は・よ・う・ご・ざ・い・ま・す」との挨拶プレートやポスターを持ち、一日の始まりを伝えています。とても温かな一日の始まりの光景となっています。



●校長・准校長のバスへの乗車について

今週初めから児童生徒支援の一環として、校長・准校長が交代で本校の通学バス 15 台の登校便に乗車しています。校内での子どもたちの様子は、授業を見て回る中で直接参観したり、先生方から様子を聞いたりして知ることができます。ですが、バスの中で子どもたちがどのように過ごしているか、運転手さんや添乗員さんから、お話を聞くことはありますが、直接見ることはなかなかありません。すでに何台か乗せていただきましたが、学校とは少し違う子どもたちの様子や、運転手さん・添乗員さんの子どもたちへの丁寧で優しい接し方を見ることができました。各コース 1 回の乗車となりますが乗車時の様子を教職員で共有し、日々の教育活動に役立てたいと考えています。

通学バスでの通学・自主通学に関わらず、子どもたちが朝「ってきます」と家を出て、夕方に「ただいま」と家に帰る。といった当たり前のような日々を当たり前に過ごせるように、学校で務めるすべての教職員が一致団結して子どもたちを守っていきたくと考えます。冒頭にも書きましたが、お願いすることが多々あるかと思いますが、今後ともご理解ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。